

令和2年度第1回北海道独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
北海道職業能力開発促進センター函館訓練センター部会開催概要

- 1 開催日時 令和2年 7月27日(月) 14:00~15:00
- 2 開催場所 北海道職業能力開発促進センター函館訓練センター 101教室
- 3 主な議題
 - ・令和元年度事業実績について
 - ・令和2年度事業計画及び実施状況について
 - ・その他

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明を行った後、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

- ・コロナ禍の影響がある中、ポリテクセンター函館の実習では、グループを分けた少人数での実施、マスク着用の徹底、必要に応じた機器の消毒、指導員が製作したパーティションの整備など、様々な工夫をしていることが分かった。コロナ禍ではあるが頑張っていると思う。
- ・ビジネスワーク科の訓練を今後も継続していただくようお願いしたい。ビジネスワーク科の訓練を通じて、経理等の書類仕事についても地元のレベルアップに役立っていると感じる。
- ・簿記を受験している方が多くいるため、ビジネスワーク科は継続していただきたい。在職者訓練では、若年層に向けて実施していることを頼もしく感じる。実績を上げ、受講した方の声を今後に活かし、充実した在職者訓練にしていただきたい。また、それを受けて在職者訓練を希望する企業が増えれば、地域産業が活性化していくのではないかと。
- ・今後は就職が厳しいと思われるので、是非とも訓練受講生と就職に向けて協力していただきたい。訓練受講者数の低下については、状況が判明していれば対策が可能かと思われるので、是非ともハローワークと連携して取り組んでいただきたい。これから先、さらに離職者が増えると思われるが、離職者訓練は極めて大切であり、内容の充実はもちろん訓練科目の見直しも含めて必要である。現在の科目も重要ではあるが、他のポリテクセンターでは違った科もある点を踏まえ、どのような科目を実施するかが課題となるので、検討をお願いしたい。
- ・企業では業務が多忙で余裕がなく、人材を育てる人が限られるので、今後もポリテクセンター函館で在職者訓練を実施していただきたい。
- ・技術を伝承できる施設が函館にあることは素晴らしいことである。地域のニーズとのバランスは難しいが、続けていくことと変化していくことの両方は、状況を見て実施していく必要があるのではないかと。

令和2年度第1回北海道独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
北海道職業能力開発促進センター函館訓練センター部会委員名簿

松浦 俊彦	(座長)	北海道教育大学函館校キャリアセンター函館校センターセンター長
杉本 秀司		函館公共職業安定所所長
津村 健		北海道渡島総合振興局産業振興部地域産業担当部長
柏 弘樹		函館市経済部部長
長谷川 義樹		連合北海道渡島地域協議会会長
竹内 正幸		函館商工会議所事務局長
高橋 泰助		北海道中小企業家同友会函館支部支部長
亀田 隆史		函館建築工業協同組合理事長
高山 則夫		北海道機械工業会函館支部支部長

(敬称略)